



米澤社長(左)とジョコ大統領（オリエンタル
コンサルタンツグローバル提供）

ジャカルタの LRTが開通

オリコンサルグローバルら
設計精査と施工・契約監理

オリエンタルコンサルタンツ
グローバルを代表とする共同企
業体が設計精査、施工・契約監
理を担当した次世代型路面電車
（LRT）の開通式が28日、イ
ンドネシア・ジャカルタのチャ
ワン駅で開かれた。式典には同
国のジョコ・ウィドド大統領、
プティ運輸大臣、ヘルージャカ
ルタ特別州知事代行らが出席。
ジョコ大統領がオリエンタルコ

ンサルタンツグローバルの米澤
栄二社長にねぎらいの言葉を掛
ける場面もあった。

共同企業体はオリエンタルコ
ンサルタンツグローバルを代表
とし、現地コンサルタント教社
で構成した。同社は日本のコン
サルタントで初めて、約290
0億円規模の非政府開発援助
（ODA）事業の全ての土木構
造、軌道設計、列車運行システ
ムの設計精査、施工監理、契約
監理を行った。

開通した「ジャボデベックL
RT」は、中央ジャカルタのド
ウクアタス駅を基点とする全3

路線、総延長44キロにわたる交通
網。ジャカルタの交通渋滞解消
などを目的に国家戦略プロジェクトとして整備された。同国初
の無人自動運転となる。運行管
理は車両基地に設けたオペレー
ション・コントロール・センタ
ーで管理する。

ジャカルタ首都圏地域は公共
交通機関の整備が不十分で道路
の拡張が遅れている。車両やオ
ートバイの所有の増加により慢
性的な交通渋滞が発生してお
り、大気汚染や交通事故の増加
など深刻な交通問題を抱えてい
る。